

日本歯科麻酔学会雑誌

JOURNAL OF JAPANESE DENTAL SOCIETY OF ANESTHESIOLOGY

2025年
第53巻抄録号

第53回 日本歯科麻酔学会総会・学術集会

会期：2025年10月10日(金)～12日(日)

プログラム・抄録

会場：カクイックス交流センター（かごしま県民交流センター）

日 齒 麻 誌

J. Jpn. Dent. Soc.
Anesthesiol.

一般社団法人 日本歯科麻酔学会

<https://jdsa.jp/>



第53回

日本歯科麻酔学会総会・学術集会

The 53rd Annual Meeting of the Japanese Dental Society of Anesthesiology

会 長 杉村光隆

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 先進治療科学専攻
顎顔面再建学講座 歯科麻酔全身管理学分野 教授

プログラム・抄録集

Program and Abstracts

会 期 2025年10月10日（金）～12日（日）

会 場 カクイックス交流センター（かごしま県民交流センター）

会長挨拶

皆さん、こんにちは。

第53回日本歯科麻酔学会・学術集会（53JDSA）は、2025年10月10日（金）～12日（日）の3日間、鹿児島市のカクイックス交流センターで開催されます。

53JDSAのテーマは、『歯科麻酔学 再考 ～伝統の継承・次世代への提言～』です。安心・安全で快適な歯科診療環境の提供を主な目的として発展してきた本学会も設立から50年を超え、これまでを振り返り、歯科麻酔や歯科医療の近未来を展望することができれば、と考えました。

トピックの一つは、53JDSAのテーマについて臨床、教育、研究、地域貢献の視点で、『歯科麻酔エキスパートが理事長に物申す』シンポジウム1です。宮脇理事長のご高配で実現しました。それに続いて、今大会のテーマに関連したシンポジウムならびに教育講演において、若手への研究留学のススメ、ペインクリニックへの誘い（日本口腔顔面痛学会共催）、口腔外科と歯科麻酔科の協働、今後の障害者歯科医療、歯科麻酔の魅力発信、歯科での時間医学の活用術、1.5次歯科医療の実態と今後のこと、そして出張鎮静のあり方について、各領域のスペシャリストに近未来を見据えて思いの丈を語っていただきます。

また、超高齢社会を背景に、歯科麻酔科医はもとより一般歯科医療者に求められる『全身管理の眼の大切さ』について、鹿児島大学教授で循環器内科の大石 充先生ならびに麻酔科の松永 明先生より、その根底に流れるフィロソフィーを伝授していただきます。さらに、スペシャルゲストとして、2027年、ドイツで開催予定の国際歯科麻酔学会連合（IFDAS）のPRを兼ねて、理事のWolfgang Jakobs先生から鎮静法にまつわるご講演をいただきますので楽しみに！

もう一つのトピックは、「歯科麻酔の認知度アップ」という古くて新しい問題と関連して、歯科麻酔科医はもとより、一般歯科医療関係者、学生さん、市民の皆様まで対象を広げて、『歯科麻酔ワールド』を少しでもご体感いただける機会になれば、と考えています。今回は、市民公開型のセッションを3つ設定しました。1) 東日本大震災を契機に宮城県で始まった多職種連携による地域再生の取り組み、2) 石川県で「ごちゃまぜ交流」という地域共生社会の場を提供されているご住職の講和（専門医共通研修）、また3) 日本の音楽療法のフロントラインから歯科医療や終末期ケアの現状報告（専門医共通研修）、さらに通常の市民公開講座として、4) 「歯医者さんと麻酔の関わり」をテーマにした計4つのセッションです。これらを通じて、多様な参加者に開かれた学会を目指しており、少しでも「歯科麻酔の認知度アップ」に繋がれば幸いです。

53JDSA 発の企画以外では久保田康耶記念講演をはじめ、各種委員会企画のセミナーや最優秀発表賞（ジーシー昭和薬品賞）候補演題、歯科衛生士セッション、paperChart ワークショップなど、いずれも今大会のテーマにマッチングしたコンテンツをご準備いただいています。

お昼はランチョンセミナーとキッチンカーで対応いたします。また、お帰りの際は、会場から鹿児島空港への直行バスをご利用いただき、『とことん鹿児島大会！』という構えでお楽しみいただくと幸いです。そして、月曜日はスポーツの日ですので、『命の洗濯は南国で！』をお勧めいたします。一部オンデマンド対応ですが、対面に勝るものはないと自負して準備を進めています。

鹿児島は離島やへき地を含め、南北約 600 km からなる風光明媚な観光地で、会長が我が師匠と仰ぐ活火山、桜島は見応えがあります。また、西郷隆盛や大久保利通らを輩出し、明治維新は鹿児島から、という誇りを感じさせる風土も兼ね備えています。さらに薩摩とくれば三黒、すなわち黒豚、黒牛、黒鶏に芋焼酎が来訪者を堪能させてくれます。

歯科麻酔学会員をはじめ、一般歯科医療関係者、ならびにご支援いただく企業スタッフの方々にもご満足いただけるようなプログラムとおもてなしの心で、皆様をお迎えする所存です。多くの皆様がこの南端へお越しいただくことを心より願っております。

おじゃったもんせ、かごんまへ！

第 53 回日本歯科麻酔学会・学術集会

会長 杉村光隆

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 先進治療科学専攻

顎顔面再建学講座 歯科麻酔全身管理学分野 教授